

Rotary International District 2630 2018-2019

月信 MONTHLY REPORT

ガバナー



インスピレーションに
なろう

国際ロータリー 第2630地区
2018-2019年度
ガバナー 木村 静之

February
2019
Vol.8



静かな冬の朝

CONTENTS

- 平和と紛争予防 紛争解決月間……………P2
2018-19年度 ガバナー 木村 静之
- 地域における青少年育成について……………P3
青少年育成小委員会委員長 下田 徳彦
- 公共イメージと認知度について……………P4
公共イメージ部門委員会委員長 土川 東
- ローター財団奨学生学友会クリスマス会……………P5
補助金小委員会 奨学金・学友担当 道家 嗣典
- グローバル補助金奨学生の紹介……………P6-7
グローバル補助金奨学生 鈴木 健司
鈴鹿ロータリークラブ ローター財団委員長 宮崎 城治
グローバル補助金奨学生 畑野 孝仁
松阪ロータリークラブ 小津 博英
- 12月度出席報告……………P8
- 会員動静報告……………P9
- 青少年交換修了式……………P10
各事務所の案内

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





平和と紛争予防 紛争解決月間

2018-19年度 ガバナー

木村 静之

今月は平和と紛争予防月間です。ロータリーの大きな目標は平和な世界を築くことです。多くの平和構築者を育てていくために、ロータリーは2002年から「ロータリー平和センタープログラム」を立ち上げ、世界の6つの提携大学に平和センターを設置しています。毎年、世界から100名のロータリー平和フェローが選ばれ、平和と安全保障に関する2年間の修士号プログラム、または3か月の専門修了証プログラムで学ぶため奨学金が提供されます。日本では国際基督教大学にあります。提携大学では、選り抜かれた関連分野の専門家たちが、平和構築の知識とスキルを磨くために、熱心に研究に励んでいます。この平和センターで養われた知識とスキルは、世界各地で平和と紛争解決に向けた活動を実施するための力となります。すでにここを卒業した多くのフェローが、国連や各国政府機関、NGOなどで活躍しています。

当第2630地区は、この「ロータリー平和センター」の奨学金プログラムに寄与するため、2016-17年度に、財団のDDFの繰越金から50万ドルを拠出して冠名基金「第2630地区岐阜・三重世界平和フェローシップ」を設立し、この基金の収益から奨学金が出るようにしました。今年度（2018-19年度）もこの冠名基金に5万ドルを追加拠出します。

他方で、まだ当地区から「平和フェロー」の推薦がなされていません。世界の平和に貢

献したいというフェロー候補者を見つけ、推薦していただきたいと思います。候補者は意外と身近なところが見つかるかもしれません。

財団のDDFは、もともと各クラブが実施する「地区補助金事業」「グローバル補助金事業」のために支出されるものでありますが、毎年、補助金申請をされるクラブが地区内75クラブ中20～27クラブなので、使い切れておらず、繰り越されます。そこで、もっと多くのクラブに補助金申請をしていただきたいと思います。地区補助金の申請時期は、事業を行う「前」の年度の12月1日から1月31日までですので、クラブ内で前年度から事業計画を立てる必要があります。参考として、他クラブがどのような事業を実施しているかを見ていただくため、2630地区のホームページのトップに新しいメニュー「各クラブの奉仕プロジェクト」を作りました。どうぞご覧ください。

会員基盤の強化は今年度の地区重点目標です。ここまで多くのクラブで会員増強の成果を上げておられます。新しい奉仕の仲間が増えることはたいへん嬉しいものです。あと5か月、各クラブの会長さんにおかれましては、クラブで立案した戦略計画（クラブのあるべき姿を検討して立てた目標）の実施状況を見ながら、会員増強とクラブの活性化に向けて、今からでも可能な方策を実施していただき、次年度に繋げていただきたいと思います。

地域における青少年育成について



青少年育成小委員会委員長 下田 徳彦

日頃は地区青少年育成事業において、ご理解ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。青少年育成事業については、75クラブそれぞれの地域において、それぞれのクラブの「特長」や「つながり」を活かし様々な事業活動が行われ、今後も継続していくことと思います。当地区の青少年育成小委員会においては数年前より「出前講座（おじさん先生）の普及」に活動を絞り委員会運営をしております。私自身ロータリーに入会してからというもの、長年「出前講座」に携わり、クラブ委員、地区委員、そして地区委員長に至るまで、気付いた時には、入会してからの在籍年数の約8割を本事業に携わっております。

事業の対象となる子供が、自身の娘や息子の年代と重なっていることもあり、特に思い入れはありますが、それ以上にロータリーが開催する「出前講座」の必要性や期待される効果が、社会ニーズとして年々高まって来ている事を痛切に感じています。地域の子供たちにとって「自分の住むまちにこんな会社（職業）があったんだ」「今の勉強が将来につながっているんだ」「人としての生き方を学べた」・・・先生にとって「学校では教えられないことを教えていただいた」「今まで見たことがない生徒の真剣な表情を見た」・・・親にとって「地元の大社長さんが時間を割いて授業をしてくれた」・・・多くの声を聞いて、地域の生徒、先生、親御さんにとっても大変有意義な活動になっています。

ここ数年来「公共イメージと認知度の向上」がRIにおいて特に重要視され、昨今ではRI会長賞の条件にもなっております。この項目について考えると、ロータリーが行っていることを地域社会において知って頂くことであり、地域社会において必要としていることを行えば、結果として『ロータリーの公共イメージ』がアップし、認知度も向上すると考えます。昨年になりますが、ロータリーと教育委員会が連携し取り組んだ「出前講座」が2017年度「キャリア教育優良教育委員会」として文科大臣表彰を受賞した実例が当地区内にあります。教育長から直々に感謝の言葉をいただき、地元メディアでも大きく報道されました。

ロータリーの「職業奉仕の理念」の特長を活かし、地域における身近なところで、お金もかけずに手軽に活動できる取組みをもっと多くの会員に知って頂きたい。やり方については委員会で「実施マニュアル」を作成しましたので、ご参考にしていただければ幸いです。大切なことは、ロータリアンである奉仕の心を持って、地域の未来を担う子供たちに、自らの体験談を自らの言葉で伝え、働くことの意義、「夢」や「誇り」を持つことの大切さを伝え、将来について考えるきっかけとなる事だと感じています。すべての会員がそれぞれの職業に対する思いや体験談があり、まさにロータリーならではの地域における青少年育成事業の一つであると確信いたします。



公共イメージと認知度について



公共イメージ部門委員会委員長 土川 東

「公共イメージと認知度の向上」がロータリーにとってなぜ重要なのでしょうか。ロータリーにおいて「公共イメージと認知度」が進めば

- ・より多くの人材が集まる
- ・意欲の向上につながる
- ・活動が活性化する。

これは「ロータリーの可能性」を拡大することに確実につながるのです。同時に「公共のイメージの向上」すなわち「ロータリーがどのような組織でどのような活動により如何に世界に貢献しているか」という事をわかって頂かなくてははいけません。ロータリーの戦略計画はロータリーの進むべき道を示す指針であります。その戦略計画として3つの優先項目が掲げられています。

1. クラブのサポートと強化、2. 人道的奉仕の重点化と増加、3. 公共イメージと認知度の向上です。「公共イメージと認知度の向上」は戦略計画の3本柱の1本であり重要な項目とされています。「公共イメージと認知度の向上」に関してはその下に5つの目標が定められています。

その中でロータリーとしてアピールしたい「中核的価値観」については

1. 親睦と国際理解（生涯にわたる友情を育んでいます）
2. 倫理と高潔性（約束を守りぬきます）
3. 多様性（多様な考え方を取り入れます）
4. 職業の知識とスキル、奉仕、リーダーシップ

（リーダーシップと職業の専門知識を生かして地域社会の問題に取り組んでいます）

この中核的価値観を推進していくのが「公共イメージと認知度の向上」の重要な目的なのです。ロータリーとは何ですかと問われて簡潔に答えるとしたら「職業奉仕の理念を基礎としている」「職業倫理を重んじている」「人道奉仕を実践している」「地域社会や世界の重要な問題に取り組んでいる」「世界の様々な国や職業のリーダーのネットワーク」等ロータリーは最も差し迫った人道的課題に取り組む献身的なボランティアリーダーが集まる世界的ネットワークです。ロータリーについて知っていただき、そして良いイメージを持っていただく為にはマスコミ、新聞、チラシ、ウェブサイトを活用して紹介したり、また、奉仕活動を通して地域社会に正しく視覚的に伝えるという事が大切です。クラブに好印象を抱いてもらえば入会への関心も高まります。「公共イメージ」と「認知度」両方を向上させる上で最も効果的なのは私たちロータリアン自身の「行動」であると考えます。すべてのロータリアンが職業奉仕を心がけ、自分の行動に気を配らねばなりません。まずは自分の仕事が「地域の役に立つ仕事をする」という事を念頭に各クラブが地域の皆さんと交流を持つことでロータリーを理解してもらう事が重要です。そしてロータリアン一人一人が自己研鑽を積み公共イメージを正しく広めるよう行動することです。

2017年7月より公共イメージキャンペーン「People of Action（世界を変える行動人（ことうどうじん）」）が始まっています。この標語は、RIが始めた公共イメージキャンペーンです。クラブや地域の協力の下で世界中に展開されることになったのです。このキャンペーンは2017年ロータリー国際大会 in アトランタ」のハイライトとしてお披露目されました。

地域社会のニーズを捉えて行動を起こし人々の力をつなげて変化を生み出そうとする「行動人」としてロータリアンをアピールすることでロータリーへの認知、理解、関心を高めることを狙いとしています。さらに現会員と入会候補者、寄付者、パートナー団体、支援者のモチベーションと参加意欲を高めることを目的としています。そして、それは会員増強に直結する極めて重要な戦略的優先事項です。会員増強は増やすこと自体が目的ではありません。良いことをする仲間を増やして大きな力にしましょう。

ロータリー財団奨学生学友会クリスマス会

補助金小委員会 奨学金・学友担当 道家 嗣典

日時：2018年12月9日（日）12：00～14：30

場所：岐阜グランドホテル本館 12F「ローズルーム」

上記日時場所にて、2018-19年度ロータリー財団奨学生学友会クリスマス会が開催されました。出席者は、ロータリー財団奨学生の学友会会員と RI 第 2630 地区のロータリー財団部門委員会の担当ロータリアンでした。

当第 2630 地区からは辻正敏ガバナーエレクトとロータリー財団部門から平井義之委員長、井上重敏補助金小委員会副委員長（奨学金・学友担当）、道家嗣典補助金小委員会委員（奨学金・学友担当）が出席し、地区のロータリー財団プログラムを経験された学友会会員の皆さんと楽しい時間を過ごさせていただきました。

学友会とは、さまざまなロータリープログラム（ロータリー平和フェロー、国際親善奨学生、研究グループ交換 [GSE]、グローバル補助金と地区補助金による奨学生、職業研修チーム [VTT]、ロータリーボランティア補助金、大学教員のための補助金、およびカール P. ミラー助成金の受領者、その他のロータリー財団プログラム）に参加した経験のある人々の集まりで、当第 2630 地区の学友の方たちは、誰もがエネルギーで情熱的な方々です。

会では参加者全員の近況報告を行い、それぞれのロータリー財団・ロータリー活動への思いを語り合いお互いに情報交換をしました。学友の皆さんからは、ロータリー財団について行動を通じてロータリーに恩返しをしたいことや、地区内外でロータリーの使命を推進してきたことなども話題に上りました。

またクリスマス会の最後には学友会 OB で、現在は第 2760 地区中部名古屋みらいロータリークラブのロータリアンでもある高橋一吉さんがサンタクロースに扮してプレゼントを渡してくださり、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。このプレゼントは参加者全員がそれぞれ 1,000 円程度の高額でないクリスマスプレゼントを持ち寄ったものです。

学友会の皆さんからのロータリー財団奨学生制度についての感謝の言葉をお聞きし、またそれぞれの活躍に「ロータリアンであってよかった」、「ロータリー財団を支援してよかった」と思える素敵なクリスマス会となりましたことをご報告いたします。



グローバル補助金奨学生の紹介



グローバル補助金奨学生 鈴木健司

鈴鹿ロータリークラブ ロータリー財団委員長 宮崎 城治

本年度、鈴鹿ロータリークラブよりグローバル補助金奨学生として、1年間の予定でイギリスに送り出しました鈴木健司君についてご紹介させていただきます。

鈴木君は鈴鹿市生まれのイケメン27歳であり、地元の高校を卒業後、立命館大学法学部に在学中に1年間のアメリカ留学を経験した後、一般社団法人日本国際協力システム(JICS)という専門機関に就職しました。そこでは、日本政府が東南アジア途上国へ行っている政府開発援助(ODA)に関する無償資金協力事業に従事していました。

大学時代の米国留学やJICSでの仕事を通じ、世界では貧困が原因で教育や医療というのが、多数の人々の選択肢から失われていることを知り、将来的には国籍を問わず、様々な人々に協力を促し、微力でも貧困削減へ貢献し、より多くの人々が幅広い人生の選択肢を持てる世界にしたいと考えるようになったそうです。その思いを実現するべく、今以上に世界の貧困問題に効果的に係わることが出来る国際機関で働くため、英国サセックス大学大学院にて開発学(貧困と開発コース)の修士号を取得し、国際機関職員としての応募要件を満たすことを目指しています。



本コースご学友との集合写真(本人最後列右端)

鈴木君は、留学するにあたり世の中の奨学金制度を調べるうちに、ロータリー財団の奨学金制度を知ったそうです。グローバル補助金による奨学金制度が自分の想いや目的に適った制度であることが分かり、地元籍のロータリークラブである鈴鹿ロータリークラブに問い合わせたことが契機でした。

奨学金の認証を受けるまでには書類審査や面接もあり、簡単な道程ではありませんでしたが、最初から最後まで鈴木君の夢実現のための熱い想いは変わることがなかったため、何とか留学出発の直前に奨学金の認証を得られた次第です。留学出発前に一度、鈴鹿ロータリークラブの例会で卓話をしていただき、クラブ会員の皆さんにも、鈴木君のプロフィールや留学の動機、目的を理解して頂きました。

11月に鈴木君から中間報告を頂きましたが、2ヶ月間の準備コース試験も無事にパスし、現在は本コースを色んな国の若者たちと切磋琢磨しながら奮闘しているそうです。

鈴鹿ロータリークラブとしましては、鈴木君が無事に修士号を取得し、国際機関でご活躍することを祈念致しますが、それだけではなく永続的に当クラブと関わり合いを持っていただき、定期的に卓話にお越し頂くことはもちろんのこととして、鈴木君の人生経験や国際機関で得られた情報を地元である鈴鹿市の若者たちにも還元できるような機会を持って頂けるようでしたら、何よりうれしく思います。



現地ロータリークラブ活動への参加



英国サセックス大学大学院キャンパス風景



グローバル補助金奨学生 畑野孝仁

松阪ロータリークラブ 小津 博英

それは、一昨年夏のことでした。クラブ事務局に1通のメールが届いたことから始まります。件名は、「グローバル補助金奨学金申請の件」。送信元は、畑野孝仁となっております。松阪ロータリークラブとして、グローバル補助金奨学金の申請は、初めてということもあり、少々戸惑いながらも、全力をあげて取り組むことを決し、申請作業を開始しました。最初に面接をおこなった訳ですが、畑野さんの印象は、非常に真面目かつ頭脳明晰。「疾病の予防と治療」というテーマについて、深い問題意識を持った人物である。というのが、最初に感じた印象です。

ここで、彼のプロフィールをご紹介します。

畑野孝仁（はたのたかひと）さん（34歳）

- ・東京都墨田区向島生まれ
- ・趣味…スポーツ、読書、ジョギング
- ・資格…TOEIC990点満点、英検1級、TOEFL108点
- ・勤務先…オムロンヘルスケア株式会社
国内本部顧客カスタマーグループ
- ・留学先…ハーバード T.H.CHAN 公衆衛生大学院
(米国・ボストン)
- ・研究対象…公衆衛生学修士
- ・重点分野…疾病の予防と治療
- ・受入先クラブ…イプスウィッチロータリークラブ (マサチューセッツ州)

彼の経歴の中で、特筆すべきは、苦手だった英語に対して一念発起し、TOEICで990点満点、英検1級、TOEFL108点を自助努力によって勝ち取っている点です。

また、職歴におきましても、就職先のオムロンヘルスケア(株)営業部門で、上腕式の血圧計を某テレビショッピングでの販売を企図。社内史上最高の4万台販売の実績を残したことです。この実績は単に社内商品を拡販という意味だけにとどまらず、自社商品を通じて、日本人の3人に1人は罹患しているといわれる「高血圧症」についての予防意識を1人でも多くの日本人に持って貰いたいという彼の強い疾病予防に対する思いから為しえた偉業と言っても過言ではありません。

実施国側となって畑野さんを受け入れてくださったイプスウィッチロータリークラブ様には、畑野さんに対し、驚くほどの厚待遇をさせていただいております。空港までの出迎え、ゲストルームの提供、朝食レストラン(10日間無料)の手配、加えて、例会への出席・会食(地元名産ロブスターの食仕方のご教示)など、多くの現地ロータリアンのお世話をいただいております。畑野さん自身は奇跡だと表現する程の待遇をいただいております。イプスウィッチロータリークラブ様には、松阪ロータリークラブとして、感激にも近い感謝の思いで一杯です。畑野さんご本人は、この様な強いご支援のもと、公衆衛生学の中のヘルスケア産業の経営マネジメントという分野を専攻し、



校内カフェでサッカーW杯の応援



カルチャーフェスティバル(文化交流会)のあと



地元名産のロブスターをご馳走になり、食べ方をご教示いただきました

目下、勉学に勤しんでおります。1年制の修士課程であるため、一般的な2年分の履修科目を1年で取得出来る様、凝縮されております。その分、1日の多くの時間を授業・宿題に費やし、相当ハードな生活を送っております。

課外活動に対しても彼は積極的で、ハーバード公衆衛生大学院で最も歴史がある日本クラブの代表にも自主的に立候補し、代表幹事に就任しました。そして、日本人以外の学生を対象にした、「ジャパントリップ」を企画し、日本文化や日本の「食」の紹介など、国際交流という観点においても、活発に活動しております。タイトな授業スケジュール、大量の宿題、地元のロータリークラブとの交流、課外活動という大変多忙な環境下にあります。本人は「やりがいがあります!」と言い切ります。彼曰く、「ロータリークラブへの感謝を胸に刻み、引き続き学修に励みたく存じます」とのこと。私達、松阪ロータリークラブにおきましても、非常に誠実かつ真面目で将来有望な人材に出会うことが出来、逆に、畑野さんに御礼を申し上げたい思いです。国際ロータリー第2630地区、ロータリアンの皆様、畑野孝仁さんの今後の活躍に是非ともご注目ください!何卒宜しくお願い申し上げます。

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2018年12月分

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑 名 員	桑 名	96.82	3	41	0	42	0	1	0
	桑 名 西	82.88	3	35	0	37	0	2	0
	桑 名 中央	78.56	3	27	1	29	1	2	0
	桑 名 北	96.88	3	32	8	32	8	0	0
	グループ計(4)	88.79		135	9	140	9	5	0
四 日 市	四 日 市	98.86	3	92	0	97	0	8	3
	四 日 市 北	73.65	3	22	5	22	5	0	0
	四 日 市 西	96.16	3	68	4	69	4	2	1
	四 日 市 南	82.45	3	37	3	39	4	2	0
	四 日 市 東	100.00	3	39	1	38	1	0	1
	グループ計(5)	90.22		258	13	265	14	12	5
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	67.51	3	66	8	66	8	3	3
	鈴 鹿 西	72.83	3	40	7	40	7	1	1
	鈴 鹿 ベイ	83.33	2	12	0	12	0	0	0
	亀 山	64.90	3	14	0	13	0	0	1
	鈴鹿シティ	76.62	3	64	4	67	4	3	0
グループ計(5)	73.04		196	19	198	19	7	5	
中 勢 ・ 伊 賀	津	91.41	3	65	0	68	0	4	1
	上 野	91.13	3	40	1	39	1	1	2
	名 張	98.12	3	36	2	36	2	1	1
	津 南	92.31	3	49	2	52	2	3	0
	津 北	92.44	3	40	3	42	4	3	1
	上 野 東	100.00	3	40	3	40	3	0	0
	久 居	92.31	3	27	1	27	1	0	0
	名張中央	80.83	3	22	1	23	1	1	0
	グループ計(8)	92.32		319	13	327	14	13	5
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	86.66	3	78	0	80	0	2	0
	松 阪 東	80.46	3	56	11	58	11	2	0
	熊 野	69.44	3	35	5	36	5	1	0
	尾 鷲	52.02	3	12	2	14	2	2	0
	松 阪 山 桜	81.19	3	38	4	38	4	1	1
	グループ計(5)	73.95		219	22	226	22	8	1
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	90.12	3	61	0	62	0	1	0
	鳥 羽	70.73	4	30	4	32	4	2	0
	伊 勢 南	95.95	3	43	0	42	0	0	1
	志 摩	71.85	3	48	11	48	11	1	1
	伊 勢 中央	93.48	3	50	0	49	0	0	1
	伊 勢 度 会	97.76	3	15	4	15	4	0	0
	グループ計(6)	86.65		247	19	248	19	4	3
三重県合計 (33)	84.84		1,374	95	1,404	97	49	19	
地区合計 (75)	83.43		3,131	156	3,205	165	123	49	

■ 2017年12月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
岐阜県合計 (43)	85.08	1,747	1,811	63	64
三重県合計 (33)	87.37	1,339	1,379	93	40
地区合計 (76)	86.08	3,086	3,190	156	104

(注) グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐 阜 A	岐 阜	88.51	3	83	0	85	0	5	3
	岐 阜 西	84.66	3	52	0	53	0	1	0
	岐阜長良川	89.89	4	49	0	50	0	1	0
	岐 阜 北	88.46	3	30	1	35	3	5	0
	岐 阜 中	85.71	4	26	1	28	1	2	0
	グループ計(5)	87.45		240	2	251	4	14	3
岐 阜 B	岐 阜 南	75.18	3	100	8	98	9	2	4
	岐 阜 東	73.61	3	48	1	50	2	4	2
	岐阜東南	80.83	3	38	0	39	0	1	0
	岐阜加納	82.22	3	70	2	76	3	6	0
	岐阜エトス	78.27	3	20	2	20	2	0	0
	岐 阜 城	97.45	3	15	0	16	0	1	0
グループ計(6)	81.26		291	13	299	16	14	6	
岐 阜 西 濃	大 垣	83.18	3	85	0	89	2	4	0
	大 垣 西	91.84	4	75	0	76	0	3	2
	本 巢	94.92	3	30	0	29	0	0	1
	羽 島	85.42	4	28	4	28	4	0	0
	不 破	93.55	3	30	0	31	0	1	0
	大 垣 中	85.77	3	42	0	49	0	7	0
	大垣センチュリー	81.59	3	49	1	54	2	5	0
	岐阜淡墨	93.33	3	15	1	14	1	0	1
	岐阜サンリバー	94.44	3	20	4	19	3	0	1
	グループ計(9)	89.34		374	10	389	12	20	5
岐 阜 東 濃	多 治 見	79.75	4	49	3	47	3	1	3
	中 津 川	76.11	4	74	2	73	2	0	1
	瑞 浪	81.04	2	57	1	57	1	0	0
	恵 那	80.40	3	45	1	50	1	7	2
	土 岐	82.50	3	41	1	41	1	0	0
	多 治 見 西	80.94	3	33	4	34	4	1	0
	中津川センター	78.35	3	48	1	49	1	2	1
	多治見リバーサイド	85.00	3	40	1	40	1	0	0
	グループ計(8)	80.51		387	14	391	14	11	7
	東 海 北 陸 道	美 濃	76.00	3	27	0	24	0	0
各 務 原		54.16	3	24	0	24	0	1	1
関		82.85	3	50	2	49	2	0	1
郡上八幡		91.43	3	40	0	40	0	0	0
関 中 央		86.19	3	32	0	32	0	2	2
郡上長良川		69.70	3	33	6	33	6	1	1
各務原中央		69.54	3	27	2	27	2	0	0
各務原かかみの		80.00	3	10	2	10	2	0	0
グループ計(8)		76.23		243	12	239	12	4	8
濃 飛		高 山	78.31	3	41	0	44	0	3
	下 呂	74.24	3	22	0	22	0	0	0
	高 山 西	83.33	3	40	0	39	0	0	1
	美濃加茂	70.54	3	37	7	43	7	6	0
	可 児	83.90	3	27	0	29	0	2	0
	高 山 中央	84.57	3	55	3	55	3	0	0
グループ計(6)	79.15		222	10	232	10	11	1	
岐阜県合計 (42)	82.33		1,757	61	1,801	68	74	30	

2018年12月分

入会会員

桑名中央 RC



川嶋敏文
2018.12.7 入会
塗装卸販売

四日市 RC



片山拓也
2018.12.6 入会
油脂製造

尾鷲 RC



杉山 誠
2018.12.1 入会
保険業

岐阜北 RC



三木 淳
2018.12.12 入会
生命保険

岐阜加納 RC



古橋直人
2018.12.14 入会
建築

岐阜加納 RC



渡邊慶樹
2018.12.14 入会
サイン・ディスプレイ

大垣西 RC



末松敏康
2018.12.11 入会
ガソリンスタンド

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

関 RC



常川孝義
2005. 7. 2 入会
2018.12.11 逝去
2013～2014 年度
副会長



【表紙】 静かな冬の朝 撮影者 川口 大輔

木々が樹氷に覆われ銀世界になっている松尾池を冷え込んだ早朝に撮影しました。

青少年交換修了式

青少年交換部門委員会委員長 永尾 壽啓

2018年12月23日、岐阜都ホテルにて 木村ガバナー、辻ガバナーエレクトをお迎えして、春期来日学生の青少年交換修了式を執り行いました。

今回修了証書を授与したのは、オセアニア地方から来日した男子学生3名です。 本当にご苦勞様でした。日本に滞在したこの1年間でどんなことを学び、体験したのでしょうか？ 多分自国にいただけでは経験の出来ない大きなことを体験し、これからの人生を切り開いていく大きなバックボーンを得たのではないのでしょうか。

さて、この修了式は何回実施しても嬉しいものです。どんな縁があって日本に来日し、更にこの岐阜・三重の地にホストされるのか。考えるだけでワクワクします。この小さな縁がきっかけとなって結びついた人の輪がどんどん広がっていくことに大きな夢を感じます。 昨年、修了証書を授与したオーストラリアの女学生が平成31年2月に、1年ぶりにホームステイした伊勢の地に来日すると聞きました。この青少年交換プログラムの大きな目的である『世界平和の礎を築く』と言う交流が開始されたと考えます。 今回帰国する3人にも、胸を張って日本に再来日してくれることを期待し、応援したいと思います。 本日は、おめでとうございます。



2018-2019年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

URL <https://www.rid2630.jp/>

地区事務所

〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16
TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org

執務時間 9:30~17:30
(土・日・祝日 休務)

ガバナー事務所

〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光2695-2 岐阜都ホテル3階
TEL 058-210-2630 FAX 058-210-2631 E-mail 1819@rid2630.org

執務時間 10:00~15:00
(土・日・祝日 休務)